

令和6年度 | 学生募集要項 **学校推薦型選抜**

富山県立大学

工 学 部

機械システム工学科 環境調和型のものづくりの推進

電気電子工学科 エレクトロニクスで
社会を支え未来を切り開く

環境・社会基盤工学科 循環型社会づくりの「知」の拠点

生物工学科 自然環境と調和する
バイオテクノロジーの教育・研究拠点

医薬品工学科 「くすりの富山」の伝統を活かした
工学・薬学の融合

情 報 工 学 部

データサイエンス学科 数理と技術力で新しい価値を創造する

情報システム工学科 豊かな情報化社会を
実現する未来を目指して

知能ロボット工学科 未来の知能ロボットを創成

看 護 学 部

看護学科 高度化する医療や超高齢社会に対応する
看護の実践

目 次

1	入学者受入方針 [アドミッション・ポリシー]	1
2	募集人員	3
3	出願要件	4
4	推薦人数	4
5	入学者選抜方法	5
6	出願手続	13
7	合格発表	22
8	入学手続	23
9	推薦入学辞退	24
10	授業料等	24
11	奨学金制度	25
12	授業料等の減免制度	26
13	福利厚生等	27
14	サークル活動	27
15	特別授業の実施	27
16	個人情報の取扱い	27

* 令和4年度（2022年度）入学者選抜から、インターネットによる出願登録及び出願書類の郵送が必要となりました。詳細については、15～18ページの「インターネット出願の流れ」をご覧ください。

なお、冊子の学生募集要項は配布していません。本学ホームページからダウンロード・印刷してください。

富山県立大学の拡充計画

○ 情報工学部の開設

未来を創造するデジタルのエキスパートを育成するために令和6年4月に情報工学部を開設します。新設される「データサイエンス学科」と工学部から再編される「情報システム工学科」及び「知能ロボット工学科」の3学科で構成されます。

富山県立大学は、富山県及び地域の発展のため、魅力ある大学として、「ドンドンマスマス」発展していきます。

1 入学者受入方針【アドミッション・ポリシー】

富山県立大学は、科学技術の素養に富み人間性豊かな人材、そして創造力と実践力を兼ね備え、地域および社会に貢献できる人材の育成を教育の基本方針としています。

(1) 工学部

工学部では、21世紀の重要な課題である「自然や人間に優しい技術の創出」に役立つ教育研究を重点として、しっかりとした専門的学力と深い探究心を育てることに力を注いでいます。さらに、かの「万能の天才」レオナルド・ダ・ヴィンチの旺盛な創造意欲や好奇心に学び、新たな可能性にチャレンジする気概を育てることをめざしています。

以上のような教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った学生の入学を希望します。

- 1 自然科学に興味を持ち、科学技術の基盤となる理系の基礎学力がある。
- 2 困難な問題に直面しても、問題の解決に向けて努力しようとする。
- 3 自分で考え、自分の言葉で表現しようとする。
- 4 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して社会に貢献したいと思う。

機械システム工学科では特に次のような人を求めます

機械工学分野の基礎知識と学力を身につけ、幅広い視野をもって機械技術者の立場から地球環境問題などの今日的課題に立ち向かう意欲のある人

電気電子工学科では特に次のような人を求めます

電気・電子・通信・制御の各分野の基礎知識と技術者としての考え方を身につけ、社会の変化に対応できる高度な電気・電子技術や通信・制御システムの開発に挑戦する意欲のある人

環境・社会基盤工学科では特に次のような人を求めます

循環型社会の構築、自然との共生及び地球環境保全に貢献する知識・技術を身につけ、広い視野にたつてさまざまな環境問題を解決しようとする意欲のある人

生物工学科では特に次のような人を求めます

化学と生物学に興味を持ち、自然環境と調和するバイオテクノロジーによる豊かな社会を作り、生命・食・環境に関わる課題を解決する意欲のある人

医薬品工学科では特に次のような人を求めます

健康長寿社会の実現に向けて、工学の視点から研究・開発・製造を行い、優れた医薬品や医療技術を生み出す意欲のある人

<入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、多様な選抜方式を実施します。

【学校推薦型選抜】

英語、数学の基礎学力テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力・判断力・表現力等の能力や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

(2) 情報工学部

情報工学部では、情報やデジタルの技術を軸に機械工学や電子工学など工学に立脚する科学技術で、現代社会の抱える様々な課題を主体的に解決しようとする能力と意欲のある人材育成を目的とします。

この目的を達成するために、次のような心構えや意欲、基礎学力を持った学生の入学を希望します。

- 1 情報科学や自然科学に興味があり、科学技術に必要な理系の基礎学力を有する人
- 2 現代社会の抱える課題に対して主体的に挑戦しようとする意欲のある人
- 3 深い専門知識とともに幅広い教養を身につけ、自らの活動を通じて地域や国際社会に貢献したいと思う人
- 4 多様な意見や文化を尊重しながら自らの考えを表現でき、協調的な人間関係を築こうとする人

データサイエンス学科では特に次のような人を求めます

データサイエンスの専門知識に興味があり、社会課題に対してデータに基づき数理的に分析・推論し解決方策を導く能力と、新たな価値を他者との協働で創造できる能力を身に付けることに意欲のある人

情報システム工学科では特に次のような人を求めます

仮想と現実の両空間で進化する情報社会の課題に目を向け、理論と実践に基づいた唯一無二の情報技術の研究開発を行い、多様な人々の自己肯定感を向上させることに意欲のある人

知能ロボット工学科では特に次のような人を求めます

ロボットは、情報工学による知能と、機械、電子機器を統合したシステムであって、それらの融合領域の学問であるロボット工学を修め、革新的な科学技術を創造する意欲のある人

<入学者選抜の基本方針>

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、多様な選抜方式を実施します。

【学校推薦型選抜】

英語、数学の基礎学力テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力・判断力・表現力等の能力や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

(3) 看護学部

看護学部では、幅広い教養と人々への共感的態度を備えた人間性豊かな人材、さらに、創造力、実践力及び探究心を兼ね備え、多職種と協働しながら地域や社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

以上の教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った人の入学を希望します。

- 1 人々の健康や生活に関心を持ち、幅広い基礎学力がある。
- 2 困難な課題に直面しても、課題の解決に向けて主体的に取り組み、努力しようとする。
- 3 多様な考え方を尊重しながらも、自分の考えを表現し、他者との関係性を築いていける。
- 4 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して地域社会に貢献したいと思う。

＜入学者選抜の基本方針＞

本学の求める学生像に合致した人材を幅広くかつ的確に見出すために、以下の選抜方式を実施します。

【学校推薦型選抜】

英語、数学の基礎学力テストを課すことにより、大学教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。これと論理的な思考力や表現力等の能力を評価する小論文、コミュニケーション能力や判断力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する面接及び出願書類の内容を総合して選抜します。

2 募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員				
			学校推薦型選抜		一般選抜		
			うち県外	うち職業科	前期	後期	
工学部	機械システム工学科	60名	14名	2学科計 5名以内 (各学科3名以内)	2学科計 2名程度 (県内のみ)	39名	7名
	電気電子工学科	45名	11名			29名	5名
	環境・社会基盤工学科	55名	14名	1名以内	1名程度 (県内のみ)	36名	5名
	生物工学科	40名	11名	2学科計 2名以内 (各学科2名以内)	2学科計 2名程度 (県内のみ)	26名	3名
	医薬品工学科	35名	10名			23名	2名
	小計	235名	60名	8名以内	5名程度 (県内のみ)	153名	22名
情報工学部	データサイエンス学科	40名	11名	3学科計 8名以内	3学科計 3名以内 (県内のみ)	26名	3名
	情報システム工学科	60名	15名			40名	5名
	知能ロボット工学科	60名	15名			40名	5名
	小計	160名	41名	8名以内	3名程度 (県内のみ)	106名	13名
看護学部看護学科		120名	48名 (県内のみ)	—	—	62名	10名
計		515名	149名	16名以内	8名程度 (県内のみ)	321名	45名

- ・職業科とは、機械システム工学科、電気電子工学科、環境・社会基盤工学科については、文部科学省学校基本調査にいう「工業に関する学科」、「情報に関する学科」、「商業に関する学科（情報処理関係に限る。）」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。生物工学科、医薬品工学科については、「工業に関する学科」、「農業に関する学科」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。データサイエンス学科、情報システム工学科、知能ロボット工学科については、「工業に関する学科」、「情報に関する学科」、「商業に関する学科（情報処理関係に限る。）」、「農業に関する学科」及び「水産に関する学科」に分類される学科とする。
- ・県内及び県外とは、高等学校等の所在地をいう。
- ・一般選抜については、「学生募集要項 一般選抜」を参照のこと。

3 出願要件

(1) 工学部

次の①から③までのいずれにも該当し、出身学校長が責任を持って推薦できる者とする。

① 次のアからウまでのいずれかに該当する者

ア 高等学校又は中等教育学校を令和6年3月卒業見込みの者又は令和5年度内に卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月修了見込みの者又は令和5年度内に修了した者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月修了見込みの者又は令和5年度内に修了した者

② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針〔アドミッション・ポリシー〕に示す適性を有する者

③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(2) 情報工学部

次の①から③までのいずれにも該当し、出身学校長が責任を持って推薦できる者とする。

① 次のアからウまでのいずれかに該当する者

ア 高等学校又は中等教育学校を令和6年3月卒業見込みの者又は令和5年度内に卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月修了見込みの者又は令和5年度内に修了した者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和6年3月修了見込みの者又は令和5年度内に修了した者

② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針〔アドミッション・ポリシー〕に示す適性を有する者

③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(3) 看護学部

次の①から③までのいずれにも該当し、富山県内に所在地を有する出身学校長が責任を持って推薦できる者とする。

① 次のア又はイのいずれかに該当する者

ア 高等学校を令和6年3月卒業見込みの者又は令和5年度内に卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月修了見込みの者又は令和5年度内に修了した者

② 人物、学業ともに優れ、入学者受入方針〔アドミッション・ポリシー〕に示す適性を有する者

③ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

4 推薦人数

(1) 工学部

1校から推薦できる人数は、富山県内の高等学校等は6名以内、富山県外の高等学校等は5名以内とする（普通科と職業科の併設校にあっても同じ。）。

(2) 情報工学部

1校から推薦できる人数は、富山県内の高等学校等は6名以内、富山県外の高等学校等は5名以内とする（普通科と職業科の併設校にあっても同じ。）。

(3) 看護学部

1校から推薦できる人数は、富山県内に所在地を有する高等学校等から6名以内とする。

5 入学者選抜方法

(1) 工学部

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト（外国語、数学）及び面接の結果を総合して行う。

① 試験期日・時間割・会場

期 日	事 項	時 間	会 場
令和5年 11月24日(金)	受験上の注意事項説明	8:40～ 9:00 (20分)	富山県立大学 射水キャンパス (富山県射水市黒河5180) 巻末の「試験会場案内図」 を参照のこと。
	基礎学力テスト(外国語)	9:00～10:00 (60分)	
	基礎学力テスト(数学)	10:40～11:55 (75分)	
	個人面接	13:05～	

② 基礎学力テストの実施教科・科目等の内容及び採点・評価の基準（注1）

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ英語に関する理解度やコミュニケーション能力を点数化して評価する。	60分
数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ数学に関する基礎的な知識の習得度や、習得した知識を活用して事象を数学的に考察・表現する能力を点数化して評価する。（注2）	75分
面 接	志望理由、志望学科に関連した自然科学に関することなどについて質問し、論理的な思考力・判断力・表現力等の能力や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を点数化して評価する。（注3）	

（注1） 基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

（注2） 「数学B」は、「確率分布と統計的な推測」を除く。

（注3） 面接は、個人面接とする。

③ 基礎学力テスト等の配点

基礎学力テスト		面接	計
外国語	数学		
100点	150点	250点	500点

（注）面接の配点には出願書類の評価を含む。

④ 志望学科の選択

- 機械システム工学科及び電気電子工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科及び電気電子工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。
- 環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。
- 生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。
なお、入学志願票（インターネット出願サイトからダウンロード・印刷）の第2志望欄が空欄の場合は、第2志望が無いものとして取り扱う。

⑤ 合否判定の基準

学 科	合 否 判 定 の 基 準
機械システム工学科 電気電子工学科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力テスト及び面接（出願書類の評価を含む。）の点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が高得点の場合、基礎学力テスト（外国語及び数学）の総合点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。 ・機械システム工学科及び電気電子工学科全体で総合点の高得点順に（総合点が高得点の場合基礎学力テスト（外国語及び数学）の総合点の高い者が上位となり、さらに同点の場合は成績順位を同じとして）順位付けし、順位の高い者から合格学科を決定する。 ・合格学科は第1志望学科を優先して決定される。ただし、各学科の募集人員を踏まえ、第2志望学科に決定されることがある。このとき、第2志望学科を選択していない場合は、不合格になる。
環境・社会基盤工学科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力テスト及び面接（出願書類の評価を含む。）の点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が高得点の場合、基礎学力テスト（外国語及び数学）の総合点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。
生物工学科 医薬品工学科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力テスト及び面接（出願書類の評価を含む。）の点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が高得点の場合、基礎学力テスト（外国語及び数学）の総合点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。 ・生物工学科及び医薬品工学科全体で総合点の高得点順に（総合点が高得点の場合基礎学力テスト（外国語及び数学）の総合点の高い者が上位となり、さらに同点の場合は成績順位を同じとして）順位付けし、順位の高い者から合格学科を決定する。 ・合格学科は第1志望学科を優先して決定される。ただし、各学科の募集人員を踏まえ、第2志望学科に決定されることがある。このとき、第2志望学科を選択していない場合は、不合格になる。

⑥ 受験上の注意事項

- ア 受験者は、試験当日、8時40分までに試験会場の試験室へ入り、着席すること。
- イ 各教科の試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。
- ウ 試験当日は、**本学受験票、受験上の注意**及び昼食を持参すること。（※本学受験票及び受験上の注意は、インターネット出願サイトからダウンロード・印刷すること。）
試験中は、本学受験票を必ず机上に置くこと。ただし、試験当日、本学受験票を紛失又は忘れた者は、試験開始前に試験会場の本学入学試験実施本部で仮受験票の交付を受けること。
- エ 基礎学力テストにおいて、使用を許可するのは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、シャープペンシルの芯ケース、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）及び本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものに限る。なお、携帯電話やウェアラブル端末等の電子機器類など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。
- オ 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。
- カ 基礎学力テスト及び面接の一部でも受けない場合は、「失格」とする。
- キ 不正行為があった場合は、「失格」とする。

***不正行為について**

1. 次のことをすると不正行為となり「失格」となる。

- ① 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の情報を入力・記入（受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）すること。
- ② カンニング（カンニングペーパー・教科書・参考書・辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答を始めてください。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話やウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。（※事前に本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものを除く。）
- ⑨ 「解答をやめて、筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。
- ⑩ 面接が終了していない受験者が、面接が終了した受験者から面接の内容を聞くこと。また、面接が終了した受験者が、面接が終了していない受験者に面接の内容を教えること。（「受験者」とは、令和6年度学校推薦型選抜を受験する者をいう。）

2. 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。不正行為と認定された場合の取扱いは上記1と同様とする。

- ① 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具、教科書、参考書、辞書等の書籍類を荷物置場に置かず、身に付けていたり手に持っていたりすること。（※事前に本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものを除く。）
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 面接控室において、携帯電話等、通信機能のある電子機器を使用すること。
- ④ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

***基本的感染対策として、次の点に留意すること。**

- ① 日頃から、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に十分留意すること。
- ② 試験会場の建物に入る際や試験室の入退室の際は、必ず手指のアルコール消毒を行うこと。
- ③ 試験室内は適宜換気を行うので、体温調節しやすい服装で受験すること。

(2) 情報工学部

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト（外国語、数学）及び面接の結果を総合して行う。

① 試験期日・時間割・会場

期 日	事 項	時 間	会 場
令和5年 11月24日(金)	受験上の注意事項説明	8:40～ 9:00 (20分)	富山県立大学 射水キャンパス (富山県射水市黒河5180) 巻末の「試験会場案内図」 を参照のこと。
	基礎学力テスト(外国語)	9:00～10:00 (60分)	
	基礎学力テスト(数学)	10:40～11:55 (75分)	
	個人面接	13:05～	

② 基礎学力テストの実施教科・科目等の内容及び採点・評価の基準(注1)

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ英語に関する理解度やコミュニケーション能力を点数化して評価する。	60分
数 学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ数学に関する基礎的な知識の習得度や、習得した知識を活用して事象を数学的に考察・表現する能力を点数化して評価する。(注2)	75分
面 接	志望理由、志望学科に関連した自然科学に関することなどについて質問し、論理的な思考力・判断力・表現力等の能力や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を点数化して評価する。(注3)	

(注1) 基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

(注2) 「数学B」は、「確率分布と統計的な推測」を除く。

(注3) 面接は、個人面接とする。

③ 基礎学力テスト等の配点

基礎学力テスト		面接	計
外国語	数学		
100点	150点	250点	500点

(注) 面接の配点には出願書類の評価を含む。

④ 志望学科の選択

- 情報工学部のいずれかの学科を第1志望学科とする入学志願者は、情報工学部の他の学科（データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科）から第2志望学科を選択することができる。

なお、入学志願票（インターネット出願サイトからダウンロード・印刷）の第2志望欄が空欄の場合は、第2志望が無いものとして取り扱う。

⑤ 合否判定の基準

学 科	合 否 判 定 の 基 準
データサイエンス学科 情報システム工学科 知能ロボット工学科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力テスト及び面接（出願書類の評価を含む。）の点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点が高得点の場合、基礎学力テスト（外国語及び数学）の総合点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。 ・データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科全体で総合点の高得点順に（総合点が高得点の場合基礎学力テスト（外国語及び数学）の総合点の高い者が上位となり、さらに同点の場合は成績順位を同じとして）順位付けし、順位の高い者から合格学科を決定する。 ・合格学科は第1志望学科を優先して決定される。ただし、各学科の募集人員を踏まえ、第2志望学科に決定されることがある。このとき、第2志望学科を選択していない場合は、不合格になる。

⑥ 受験上の注意事項

- ア 受験者は、試験当日、8時40分までに試験会場の試験室へ入り、着席すること。
- イ 各教科の試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。
- ウ 試験当日は、**本学受験票、受験上の注意**及び昼食を持参すること。（※本学受験票及び受験上の注意は、インターネット出願サイトからダウンロード・印刷すること。）
 試験中は、本学受験票を必ず机上に置くこと。ただし、試験当日、本学受験票を紛失又は忘れた者は、試験開始前に試験会場の本学入学試験実施本部で仮受験票の交付を受けること。
- エ 基礎学力テストにおいて、使用を許可するものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、シャープペンシルの芯ケース、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）及び本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものに限る。なお、携帯電話やウェアラブル端末等の電子機器類など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。
- オ 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。
- カ 基礎学力テスト及び面接の一部でも受けない場合は、「失格」とする。
- キ 不正行為があった場合は、「失格」とする。

***不正行為について**

1. 次のことをすると不正行為となり「失格」となる。

- ① 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の情報を入力・記入（受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）すること。
- ② カンニング（カンニングペーパー・教科書・参考書・辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答を始めてください。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話やウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。（※事前に本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものを除く。）
- ⑨ 「解答をやめて、筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

⑩ 面接が終了していない受験者が、面接が終了した受験者から面接の内容を聞くこと。また、面接が終了した受験者が、面接が終了していない受験者に面接の内容を教えること。（「受験者」とは、令和6年度学校推薦型選抜を受験する者をいう。）

2. 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。不正行為と認定された場合の取扱いは上記1と同様とする。

- ① 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具、教科書、参考書、辞書等の書籍類を荷物置場に置かず、身に付けていたり手に持っていたりすること。（※事前に本学入学試験実施本部へ申請し許可されたものを除く。）
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 面接控室において、携帯電話等、通信機能のある電子機器を使用すること。
- ④ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

***基本的感染対策として、次の点に留意すること。**

- ① 日頃から、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に十分留意すること。
- ② 試験会場の建物に入る際や試験室の入退室の際は、必ず手指のアルコール消毒を行うこと。
- ③ 試験室内は適宜換気を行うので、体温調節しやすい服装で受験すること。

(3) 看護学部

入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除して、推薦書・調査書の内容、基礎学力テスト（外国語、数学）、小論文及び面接の結果を総合して行う。

① 試験期日・時間割・会場

期 日	事 項	時 間	会 場
令和5年 11月24日(金)	受験上の注意事項説明	8:40～ 9:00 (20分)	富山県立大学 富山キャンパス (富山県富山市西長江 2丁目2番78号) 巻末の「試験会場案内図」を 参照のこと。
	基礎学力テスト（外国語）	9:00～ 10:00 (60分)	
	基礎学力テスト（数学）	10:40～ 11:30 (50分)	
	小論文	12:35～ 13:25 (50分)	
	個人面接	14:05～	

② 基礎学力テストの実施教科・科目等の内容及び採点・評価の基準（注1）

実施教科等	実施科目等の内容及び採点・評価の基準	時 間
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ英語に関する理解度やコミュニケーション能力を点数化して評価する。	60分
数 学	「数学Ⅰ・数学A」の範囲から出題し、高等学校で学ぶ数学に関する基礎的な知識の習得度や、習得した知識を活用して事象を数学的に考察する能力を点数化して評価する。	50分
小論文	文章や図表を提示し、読解力、論理的思考力、文章表現能力等を点数化して評価する。	50分
面 接	志望理由、志望学科に関連した内容について質問し、コミュニケーション能力や判断力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を点数化して評価する。（注2）	

（注1） 基礎学力テスト等を一部でも受けない場合は、「失格」とする。

（注2） 面接は、個人面接とする。

③ 基礎学力テスト等の配点

基礎学力テスト		小論文	面接	計
外国語	数学			
100点	100点	100点	200点	500点

（注）面接の配点には出願書類の評価を含む。

④ 合否判定の基準

基礎学力テスト、小論文及び面接（出願書類の評価を含む。）の点数を合計した総合点による高得点順とする。総合点と同点の場合は、基礎学力テスト（外国語及び数学）の総合点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、小論文の得点の高い者が上位となる。さらに同点の場合は、成績順位を同じとする。

なお、面接で最低段階の評価を受けた者は、総合点にかかわらず不合格とする。

⑤ 受験上の注意事項

ア 受験者は、試験当日、8時40分までに試験会場の試験室へ入り、着席すること。

イ 各教科及び小論文の試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。

ウ 試験当日は、**本学受験票、受験上の注意**及び昼食を持参すること。（※本学受験票及び受験上の注意は、インターネット出願サイトからダウンロード・印刷すること。）

試験中は、本学受験票を必ず机上に置くこと。ただし、試験当日、本学受験票を紛失又は忘れた者は、試験開始前に試験会場の本学入学試験実施本部で仮受験票の交付を受けること。

エ 基礎学力テスト及び小論文において、使用を許可するものは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、シャープペンシルの芯ケース、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）及び本学富山キャンパス事務部教務学生課入試・学生募集グループへ申請し許可されたものに限る。なお、携帯電話やウェアラブル端末等の電子機器類など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。

オ 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。

カ 基礎学力テスト、小論文及び面接の一部でも受けない場合は、「失格」とする。

キ 不正行為があった場合は、「失格」とする。

***不正行為について**

1. 次のことをすると不正行為となり「失格」となる。

- ① 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の情報を入力・記入（受験票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど。）すること。
- ② カンニング（カンニングペーパー・教科書・参考書・辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。
- ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答を始めてください。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話やウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。（※事前に本学富山キャンパス事務部教務学生課入試・学生募集グループへ申請し許可されたものを除く。）
- ⑨ 「解答をやめて、筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。
- ⑩ 面接が終了していない受験者が、面接が終了した受験者から面接の内容を聞くこと。また、面接が終了した受験者が、面接が終了していない受験者に面接の内容を教えること。（「受験者」とは、令和6年度学校推薦型選抜を受験する者をいう。）

2. 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。不正行為と認定された場合の取扱いは上記1と同様とする。

- ① 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具、教科書、参考書、辞書等の書籍類を荷物置場に置かず、身に付けていたり手に持っていたりすること。（※事前に本学富山キャンパス事務部教務学生課入試・学生募集グループへ申請し許可されたものを除く。）
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 面接控室において、携帯電話等、通信機能のある電子機器を使用すること。
- ④ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

***基本的感染対策として、次の点に留意すること。**

- ① 日頃から、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に十分留意すること。
- ② 試験会場の建物に入る際や試験室の入退室の際は、必ず手指のアルコール消毒を行うこと。
- ③ 試験室内は適宜換気を行うので、体温調節しやすい服装で受験すること。

6 出願手続

(1) 出願手続方法

出願はインターネット出願のみとする。

入学志願者は、インターネット出願サイトで出願情報の登録及び入学考査料の支払いを行った後、必要な出願書類等を取りまとめて封筒貼付用宛名シートを貼付した市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に入れ、出身学校長へ提出すること。

出身学校長は、入学志願者から提出された出願書類等を取りまとめて、出願する学部毎に各学校単位で取りまとめ、出願期間内に本学に必着となるように「書留速達郵便」で郵送すること。

インターネット出願の詳細については、次の「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続きを行うこと。

(白紙)

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンタなどを用意してください。必ず富山県立大学のホームページから、出願を希望する入試区分の学生募集要項をダウンロード・印刷するなど、入試内容をよく確認し、必要書類の準備を早めに始めてください。

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ、(一般選抜)大学入学共通テスト成績請求票、(学校推薦型選抜)志願理由書、(学校推薦型選抜)推薦書など



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/pu-toyama/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.pu-toyama.ac.jp>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。

③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。

④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。





⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし入学考査料のお支払い画面へ。



⑧入学考査料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※入学考査料納入後に出力可能となります。

入学考査料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

.....

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

.....

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

.....

確認番号
メモ(6桁)

.....

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1**

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録情報の修正・変更ができませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、入学考査料支払い前であれば正しい出願情報を再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学考査料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

1 クレジットカードでの支払い

出願情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなただも、コンビニに、



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学考査料を支払ってください。

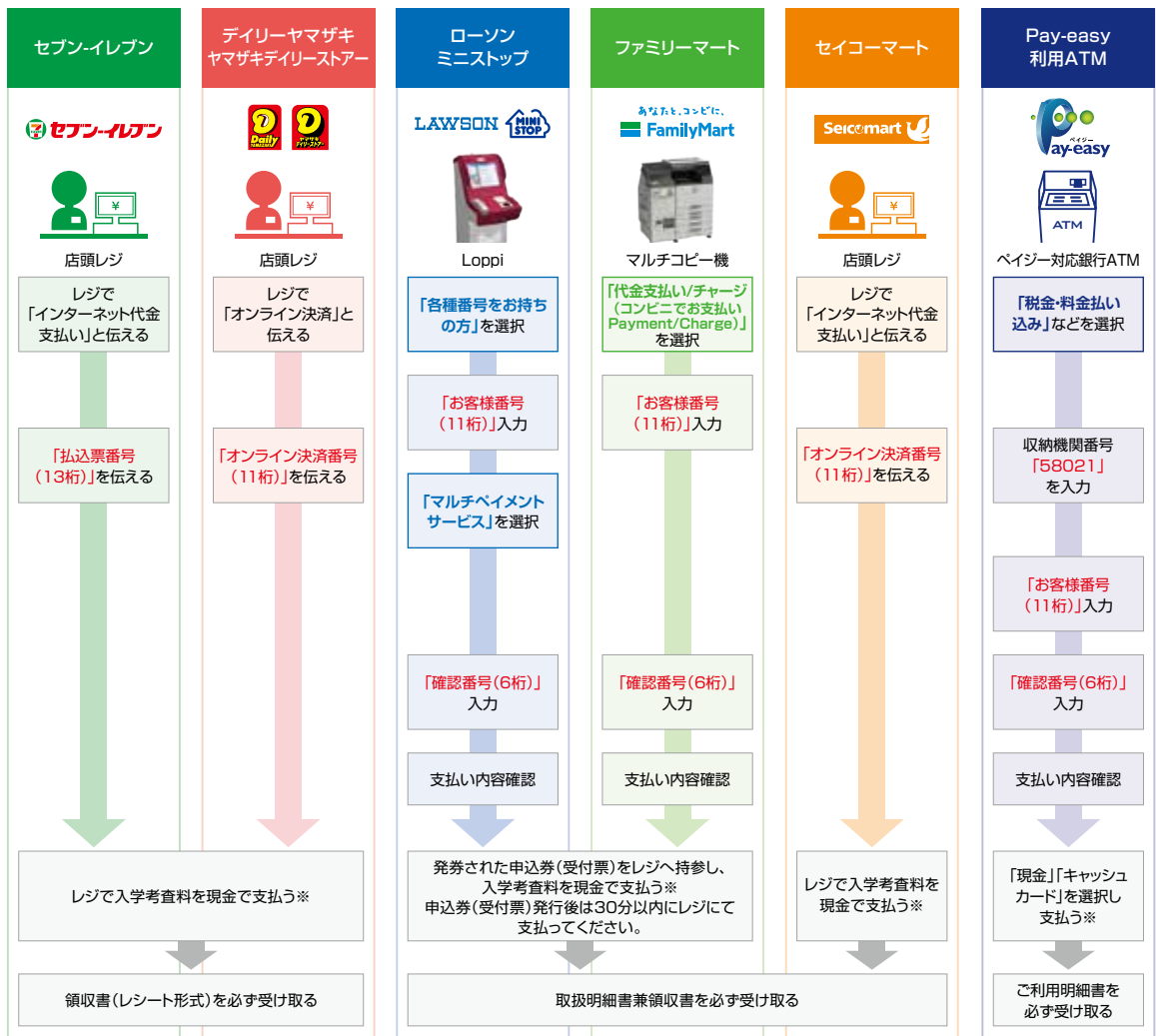
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

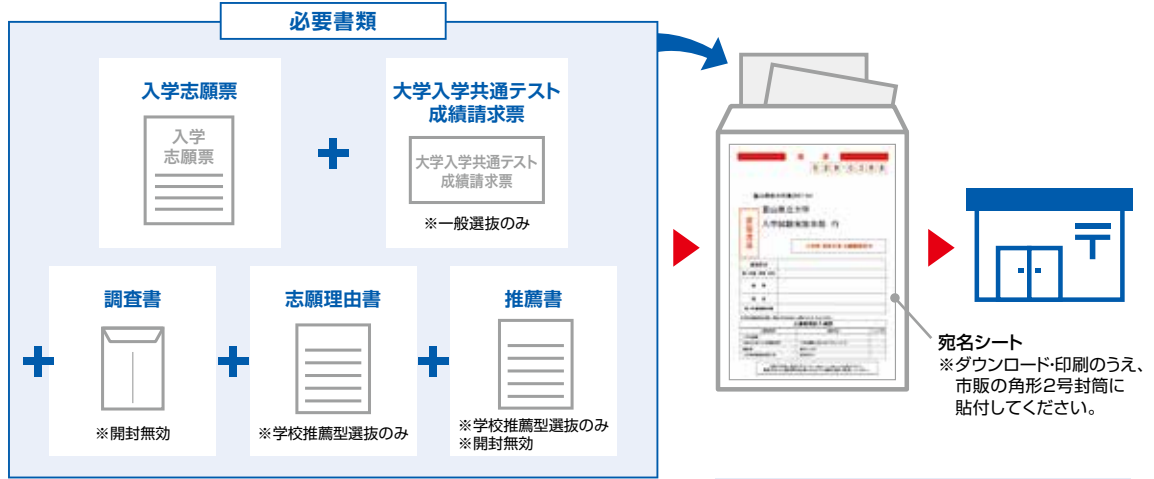
必要書類の印刷・郵送

※登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願情報の登録、入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、ダウンロードできるようになった出願に必要な書類を印刷し、その他の必要書類と合わせて出願期間内に必着となるように郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。

※1：出願締切日前日までの消印のある書留速達郵便に限り有効。

※2：学校推薦型選抜の場合は、出身学校長が入学志願者から提出された出願書類等を取りまとめて、出願する学部毎に郵送してください。



送付先

【工学部・情報工学部:射水キャンパス】
〒939-0398 富山県射水市黒河5180
富山県立大学 入学試験実施本部 行

【看護学部:富山キャンパス】
〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号
富山県立大学 事務部教務学生課入試・学生募集グループ 行

■出願書類

詳細は学生募集要項の「出願書類等」を確認してください。

※出願を一旦受理した入学考査料や必要書類は、学生募集要項で明記している理由によるものを除き、返還しません。

「入学志願票」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになり入学志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録、入学考査料の支払い後、必要書類を郵送して出願完了となります。提出期限までに必要書類が届かなければ出願を受理できませんのでご注意ください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願情報の登録・入学考査料の支払いは出願締切日の17時まで可能となっています。必要書類は出願締切日前日までの消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理します。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

「受験票」・「受験上の注意」等の印刷

出願期間終了後、一斉に「受験票」や「受験上の注意」等を配信します。インターネット出願サイトに再びアクセスし、必ず印刷・確認して、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票等のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】「受験票」は必ずA4用紙に片面・カラー印刷してください。



■インターネット出願サイトの操作方法・入学考査料の支払い方法に関する問い合わせ先

株式会社 ディスコ 「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター
TEL:0120-202-079 受付時間:平日10:00~17:00(土日祝休・年末年始休み)

(2) 事前準備

書類等	摘要
パソコンの利用環境	<p>インターネット出願には次のWebブラウザを使用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する可能性があるため、複数タブでの同時申込操作は控えること。</p> <p>スマートフォン、タブレットでのインターネット出願には標準ブラウザを使用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOS 10.2以降 Safari ・ Android 4.4以降 Chrome <p>※各OSの標準ブラウザが推奨環境となる。</p>
PDF表示・印刷ソフトウェア	<p>入学志願票（PDF）の表示・印刷には、アドビシステムズ社が配布しているAcrobat Readerが必要。</p>
メールアドレス	<p>出願にはメールアドレスが必要。事前にメールアドレスを用意すること。</p> <p>※「入学志願票」等をプリントアウトするため、パソコンで使用できるメールアドレスを推奨。</p> <p>※ドメイン指定受信を設定している者は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加すること。</p> <p>@e-apply.jp</p>
本人写真	<p>出願にあたって顔写真データ（ファイル形式（jpeg、jpg、png））を用意すること。</p> <p>写真の大きさは縦4×横3の比率が望ましい。</p> <p>写真は本人確認に利用する。</p> <p>出願受付日前6か月以内に帽子をつけないで上半身正面向きに撮ったもので本人と確認できるカラーの写真データを用意すること。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明（ぼやけている、影がある）、無背景でない（背景に風景が写っている、背景に模様がある）、化粧や前髪が目にかかるなど本人確認が困難、写真に加工を施している、現像された写真を再撮影しているなど。</p>
プリンタ	<p>入学志願票、封筒貼付用宛名シート、受験票及び受験上の注意（PDF）を出力するため、A4普通紙に印刷することができるカラープリンタが必要。</p> <p>印刷用紙（普通紙・PPC用紙・OA共通用紙・コピー用紙等）とともに用意すること。</p>
角形2号封筒	<p>入学志願票等の出願書類を郵送するため、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意し、入学志願票を印刷した際に出力される封筒貼付用宛名シートを貼付して使用すること。</p>

(3) 出願期間

令和5年11月1日(水)から11月6日(月)まで **(期間内必着とする。)**

インターネット出願サイトでの出願情報の登録及び入学考査料の支払いは、令和5年10月27日(金)午前9時から可能。

郵便事情を考慮して余裕をもって郵送すること。

出願期間後に到着したものは、受理しないので注意すること。

ただし、11月5日(日)以前の発信局（日本国内）消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(4) 入学考査料

17,000円

入学考査料の支払いは、インターネット出願サイトでの出願情報の登録後、行うことができる。

支払い方法は、15～18ページの「インターネット出願の流れ」を確認すること。

入学考査料の支払い後、(6)出願書類等の「入学志願票」「封筒貼付用宛名シート」のダウンロード・印刷が可能となるので、注意すること。

入学考査料の支払いには、別途手数料がかかる。手数料は、支払人（入学志願者）負担となる。

(5) 出願手続先

① 工学部・情報工学部（射水キャンパス）

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

富山県立大学入学試験実施本部

TEL (0766) 56-7500(代)

② 看護学部（富山キャンパス）

〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号

富山県立大学事務部教務学生課入試・学生募集グループ TEL (076) 464-5410(代)

(6) 出願書類等

【Ⅰ インターネット出願サイトからダウンロード・印刷して本学に提出するもの】

出願書類等	摘 要
入学志願票	出願情報の登録及び入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、 A4サイズで印刷 して提出すること。 ※提出前に、内容に誤りがないか必ず確認すること。
封筒貼付用宛名シート	出願情報の登録及び入学考査料の支払い後、再びインターネット出願サイトにアクセスし、 A4サイズでカラー印刷 すること。 市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に、剥がれないように確実に貼付すること。 ※提出前に、内容に誤りがないか必ず確認すること。

【Ⅱ 入学志願者が各自で準備して本学に提出するもの】

出願書類等	摘 要
推 薦 書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 ※印以外の欄を漏れなく記入すること。 ※「記入上の注意事項」をよく読んで記入すること。 ※様式は本学ホームページからダウンロードすることができる。
志願理由書	※印以外の欄を漏れなく記入すること。 ※「記入上の注意事項」をよく読んで記入すること。 ※様式は本学ホームページからダウンロードすることができる。
調 査 書	出身学校長が文部科学省所定の様式により作成し、厳封したもの（「出欠の記録」欄で長期の欠席があった場合は、必ず備考欄にその診断名等を記入すること。） ※ 新型コロナウイルス感染症の影響による、大会や資格・検定試験の中止・延期等により、特別活動及び指導上参考となる諸事項の欄の記載が少ないこと等をもって入学志願者を不利益に取り扱うことはありません。

【Ⅲ 出願書類の受理後、入学志願者がダウンロード・印刷するもの】

出願書類等	摘 要
受験票 受験上の注意 等	<p>出願書類が受理された者には、出願期間終了後、一斉に「受験票」及び「受験上の注意」等を配信する。インターネット出願サイトに再びアクセスし、必ずダウンロード・印刷、記載内容を確認して、試験当日持参すること。</p> <p>※大学からの郵送は行わない。</p> <p>※ダウンロード・印刷が可能となり次第、インターネット出願時に登録したアドレスへメールで通知する。</p> <p>※受験票は、必ずA4用紙に片面でカラー印刷すること。</p>

(7) 出願上の注意事項

- ① インターネット出願サイトでの出願情報の登録及び入学考査料の支払いだけでは出願手続は完了しないため、必ず出願に必要な書類を出願期間内に本学に必着となるよう郵送すること。なお、送付先は、志望する学部毎に異なるため、(5) 出願手続先を参照すること。
- ② 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限るので注意すること。
- ③ 工学部・情報工学部の志望学科の選択は、下記を確認のうえ行うこと。

工学部

- 機械システム工学科及び電気電子工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（機械システム工学科及び電気電子工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。
- 環境・社会基盤工学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできない。
- 生物工学科及び医薬品工学科のいずれかを第1志望学科とする入学志願者は、他の学科（生物工学科及び医薬品工学科に限る。）から第2志望学科を選択することができる。

情報工学部

- 情報工学部のいずれかの学科を第1志望学科とする入学志願者は、情報工学部の他の学科（データサイエンス学科、情報システム工学科及び知能ロボット工学科）から第2志望学科を選択することができる。

なお、入学志願票（インターネット出願サイトからダウンロード・印刷）の第2志望欄が空欄の場合は、第2志望が無いものとして取り扱う。

- ④ 出願書類等の受理後は、志望学科など出願事項の変更を認めない。工学部・情報工学部の志望学科の選択には特に注意すること。
ただし、インターネット出願サイトで登録した「入学志願票」の「連絡先」については、出願書類等に関する照会、合格通知、その他緊急の連絡の際に必要なので、変更が生じた場合は、至急、志望する学部毎に(5)出願手続先に記載する宛先へ届け出ること。

- ⑤ 出願書類等に不備のある場合は、受理しない。

- ⑥ 出願書類は、理由のいかんを問わず返還しない。

また、一旦納付された入学考査料は、次の場合を除き返還しない。

ア 入学考査料を払い込んだが出願しなかった場合（出願が受理されなかった場合を含む。）

イ 入学考査料を二重に払い込んだ場合

<返還請求方法>

インターネット出願サイトから「入学志願票」をダウンロード・印刷し、入学考査料の返還請求書とともに本学へ郵送すること。請求書様式は本学ホームページ (<https://www.pu-toyama.ac.jp/>) で確認するか、本学に問い合わせること。

なお、送付先及び問合せ先は、志望する学部毎に異なるため、(5)出願手続先を参照すること。

(注) この場合においても、入学考査料の支払いの際にかかった手数料は入学志願者の負担とする。

<返還請求期限>

出願締切から1か月以内

⑦ 受験票及び受験上の注意は、出願書類等を受理した後、令和5年11月10日(金)頃からインターネット出願サイトで一齐に配信する。必ずダウンロード・印刷、記載内容を確認して、試験当日持参すること。令和5年11月14日(火)を過ぎても受験票及び受験上の注意がダウンロード・印刷できないときは、志望する学部毎に(5)出願手続先に記載する宛先に電話で問い合わせること。

⑧ 入学許可の後においても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがある。

⑨ 障害等により受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者は、令和5年10月13日(金)までに、下記事項を記載した書類(様式は任意)及び医師の診断書(写しで可)等を添え、志望する学部毎に(5)出願手続先に記載する宛先に相談すること。

※事前相談を行ったことをもって、本学への出願を義務付けるものではない。

- ・志望学部・学科
- ・障害の種類・程度
- ・受験上の配慮を希望する事項
- ・修学上の配慮を希望する事項
- ・その他参考となる事項(身体障害者手帳の写し等)

上記の結果、必要な場合は、本学において入学志願者又は関係者等との面談を行う。

⑩ 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。

⑪ 出身学校長(高等学校等)から学校推薦型選抜に推薦された入学志願者は、国公立大学の一般選抜について、分離分割の前期日程、後期日程又は公立大学中期日程からそれぞれ1つずつ、合計3つまでの大学・学部を選んで出願することができる。

7 合格発表

(1) 発表方法

合格者の受験番号を本学のホームページに掲載するとともに、合格者本人及び出身学校長宛に郵便で通知する。本学のホームページのアドレスは<https://www.pu-toyama.ac.jp/>(携帯サイト <https://daigakuic.jp/pu-toyama/>)。

なお、合否についての問い合わせには一切応じない。

(2) 発表期日

令和5年12月8日(金) 10時(予定)

(3) 合格しなかった者の取扱い

選抜の結果、合格しなかった者が本学の一般選抜(個別学力検査等)を受験する場合は、改めて出願(出願期間は、令和6年1月22日(月)から2月2日(金)までの**期間内必着**。詳細は「学生募集要項 **一般選抜**」を参照。)すること。従って、この場合には、大学入学共通テストの受験が必要となるので、あらかじめ令和6年度大学入学共通テストに出願しておく必要がある。

8 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続書類等を取りまとめて、「書留速達郵便」で郵送すること。なお、封筒に、工学部合格者は「**工学部学校推薦型選抜入学手続書類在中**」と、情報工学部合格者は「**情報工学部学校推薦型選抜入学手続書類在中**」と、看護学部合格者は「**看護学部学校推薦型選抜入学手続書類在中**」と朱書きすること。

(2) 入学手続期間

令和5年12月13日(水)から12月15日(金)まで **(期間内必着とする。)**

(3) 入学手続先

① 工学部・情報工学部 (射水キャンパス)

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

富山県立大学入学試験実施本部

TEL (0766) 56-7500(代)

② 看護学部 (富山キャンパス)

〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号

富山県立大学事務部教務学生課入試・学生募集グループ

TEL (076) 464-5410(代)

(4) 入学手続に要する書類等

① 誓約書等

本学が交付する用紙に記入すること。

② 入学料

ア 富山県の住民 188,000円

その他の者 282,000円

イ 本学指定の「入金振込依頼書」を使用し、**金融機関(ゆうちょ銀行、郵便局を除く。)の窓口**で納付すること(ATM(現金自動預払機)は利用しないこと)。

納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、入学手続書類に同封すること。

③ 写真(1枚)

正面上半身無帽、背景なし、縦4cm×横3cm、入学手続前6か月以内に単身で撮影したもの。裏面に学部、学科、氏名を記入すること。

(入学後、修学上の届等に2枚必要なため、別に準備しておくこと。)

④ 入学許可書等送付用切手

94円切手を同封すること。

⑤ 卒業証明書又は修了証明書

令和6年3月15日(金)までに提出できない場合は、合格した学部毎に(3)入学手続先に記載する宛先に申し出ること。

(5) 入学手続上の注意事項

① 本学の学校推薦型選抜合格者は、他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験することは認められない。たとえ受験しても、受験者として取り扱われない(ただし、特別の事情により本学から推薦入学辞退の許可を得た場合を除く。)

② 学校推薦型選抜合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、学校推薦型選抜合格者としての権利を消失する。この場合でも、他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験することは認められない。たとえ受験しても、受験者として取り扱われない(ただし、特別の事情により本学から推薦入学辞退の許可を得た場合を除く。)

③ 学校推薦型選抜合格者で、令和6年度大学入学共通テストに出願した者は、合格した学部毎に(3)入学手続先に記載する宛先に大学入学共通テスト受験番号を報告しなければならない。

④ 「富山県の住民」とは、本人又はその者の配偶者若しくは1親等の親族が令和5年4月1日から引き続き富山県内に住所を有する者及びこれに準ずると認められる者をいう。

「富山県の住民」の認定は、住民票等によって行う。

⑤ 入学手続きが全て終了した者には入学許可書を交付する。

⑥ 一旦納付された入学料は、次の場合を除き返還しない。

ア 入学料を過払いした場合

イ 入学料を二重に払い込んだ場合

なお、この場合においても、入学料を振り込んだ際にかかった振込手数料は入学手続き者の負担とする。

返還請求方法については合格した学部毎に(3)入学手続き先に記載する宛先に問い合わせること。

返還請求期限は令和6年1月12日(金)までとする。

9 推薦入学辞退

合格者で特別の事情により入学辞退を希望する者は、令和6年2月2日(金)までに「推薦入学辞退願」(様式は任意)を出身学校長を経由して、本学学長に提出し、その許可を得なければならない。

なお、「推薦入学辞退許可者」でなければ、既に出願済みの国公立大学の個別学力検査等を受験することは認められないので留意すること。

10 授業料等

(令和5年4月現在)

区 分	工学部	看護学部	納入時期	摘 要
授 業 料	年額 535,800 円		5月、11月	初年度の前期分は銀行振込、初年度の後期分以降については、半期ごとの口座振替となる。
学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 料	4,660 円	5,370 円	入学時	4 か年分
後 援 会 費	50,000 円		入学時	4 か年分
学 生 会 費	20,000 円		入学時	4 か年分
同 窓 会 費	20,000 円	10,000 円	入学時	入会金

※情報工学部は工学部と同様の予定

(注1) 授業料等は年度によって変わることがある。

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。

(注2) 入学者は、一定の基準にあったノート型パソコンが必要となる。

一定の仕様・性能を備えているものであれば、必ずしも新規購入する必要はない。

(注3) 別途、教科書や実習等の経費が必要となる。

11 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構が実施する奨学金には給付型と貸与型の二種類がある。

① 給付型奨学金（高等教育の修学支援制度）

支給期間終了後に返還の必要がない奨学金で、採用方法は予約採用と在学採用がある。

予約採用の場合、希望者は在学する高等学校等（卒業後（高等専門学校の第3学年を修了後）2年以内の者は卒業（修了）した学校、高等学校卒業程度認定試験合格者は日本学生支援機構）の奨学金窓口申し出る必要がある。予約採用の場合、採用決定は4～6月頃になる予定。

在学採用の場合、希望者は大学入学後、各年度の申請期間内に申請をする必要がある。申請のあった学生を大学が選考のうえ推薦し、最終的に日本学生支援機構が採用者を決定する。在学採用の場合、採用決定は7月頃になる予定。

給付奨学金の採用者は、採用区分に応じて授業料及び入学料の全部または一部が免除される。（授業料等の減免については「12 授業料等の減免制度」参照）

（令和5年4月現在）

区 分		支 給 月 額		
		第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
給 付 型	自 宅 通 学 者	29,200円 (33,300円)	19,500円 (22,200円)	9,800円 (11,100円)
	自 宅 外 通 学 者	66,700円	44,500円	22,300円

（ ）内は、生活保護世帯及び児童養護施設等から通学する学生の場合

② 貸与型奨学金

貸与期間終了後に返還の必要がある奨学金で、無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、採用方法は予約採用と在学採用がある。

予約採用の場合、希望者は在学する高等学校等の奨学金窓口申し出る必要がある（給付型奨学金と同様）。予約採用の場合、採用決定は4～6月頃になる予定。

在学採用の場合、希望者は大学入学後、各年度の申請期間内に申請をする必要がある。申請のあった学生を大学が選考のうえ推薦し、最終的に日本学生支援機構が採用者を決定する。在学採用の場合、採用決定は7月頃になる予定。

（令和5年4月現在）

区 分	貸 与 月 額	
第一種奨学金 (無利子)	自 宅 通 学 者	2万円、3万円又は4万5千円
	自 宅 外 通 学 者	2万円、3万円、4万円又は5万1千円
第二種奨学金 (有利子)	2万円～12万円（1万円単位）からの選択制	

※第一種奨学金（無利子）を給付奨学金と併用する場合は、貸与月額が上記の額から調整される。

(2) その他

地方公共団体や公益財団法人、民間企業、公的病院などが実施する奨学金については、学内の学生掲示板において情報を掲示している。

例) 富山県が貸与する奨学金制度「富山県奨学資金」、「富山県看護学生修学資金」等

12 授業料等の減免制度

(1) 特別免除（富山県出身入学者特待生制度）

次の基準に該当する者について、1年間の授業料及び入学料を免除する制度がある。

① 1年次生

富山県内高等学校出身者のうち、大学入学共通テストの得点率が60%を超えており、本学入試における総合評価が高い者（全額免除）

学校推薦型選抜合格者で特別免除制度を希望する者は、大学入試センターが発行する「成績通知書」が必要となるので、大学入学共通テストの受験案内に従って、成績通知の申込みを行っておくこと。

ア 工学部・情報工学部…2学部合計15名以内

（前期日程合格者：概ね11名、後期日程合格者：概ね2名、
学校推薦型選抜合格者：概ね2名）

○制度の選考にかかる大学入学共通テストの教科・科目及び配点（工学部・情報工学部）

教科	国語	数学	理科	外国語 (英語)	計
科目	前期日程合格者 ……前期日程試験で受験を要する科目 後期日程合格者 ……後期日程試験で受験を要する科目 学校推薦型選抜合格者 …前期日程試験で受験を要する科目				
配点	100点	200点	100点	200点	600点

イ 看護学部…8名程度（前期日程合格者：概ね6名、後期日程合格者：0～1名、 学校推薦型選抜合格者：1～2名）

○制度の選考にかかる大学入学共通テストの教科・科目及び配点（看護学部）

教科	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語 (英語)	計
科目	前期日程合格者 ……前期日程試験で受験を要する科目 後期日程合格者 ……後期日程試験で受験を要する科目 学校推薦型選抜合格者 …前期日程試験で受験を要する科目					
配点	150点	100点	150点	100点	200点	700点

② 2年次生以上

1年次において特別免除に該当し、前年次の成績が学科内で原則上位10%以内の者（収入基準により全額又は半額免除）

(2) 高等教育の修学支援制度による授業料等免除

国の高等教育の修学支援制度の対象となった者*に対し、採用区分に基づき、授業料及び入学料の全部または一部を免除する。

※日本学生支援機構の給付奨学生に採用（予約採用または在学採用の制度あり）された者（給付奨学金については「11 奨学金制度」参照）

給付奨学金の採用区分	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分
免除の割合	全額免除	2/3免除	1/3免除

13 福利厚生等

(1) 富山県立大学生生活協同組合

生協は、学生及び教職員の生活の安定と向上を目的とし、組合員から出資された出資金を基に幅広く事業を行っており、「食堂」、「生協購売部(食品、SHOP)」の営業を行っている。

(2) アパート・下宿

本学には、学生寮はないが、生協において大学周辺のアパート・下宿の空室情報等を提供している。

なお、希望する者は、富山県立大学生生活協同組合(TEL(0766)56-8824)にその旨を連絡すること。

14 サークル活動

本学には体育系・文化系など多数のサークルがある。これらのサークルには学生の誰もが加入でき、顧問教員の指導・助言のもとに活発な活動を行っている。

15 特別授業の実施

工学部及び情報工学部は学校推薦型選抜入学生を対象に入学前(3月頃)の「特別授業」を本学射水キャンパスで実施する予定である。工学を学ぶうえで必要不可欠な数学及び理科について、高校における学習を再学習することにより、大学の授業についていける学力を涵養することを目的とする。

16 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された出願書類に記載されている氏名、性別、生年月日、住所等の個人情報については、本学の入学者選抜の目的以外で利用することや、第三者に提供することはない。

出願書類等

見本

※必ずインターネット出願サイトからダウンロード・印刷した書類で出願してください。

※推薦書、志願理由書の各様式は、本学ホームページからダウンロードすることができます。

令和6年度富山県立大学学校推薦型選抜推薦書

受験番号	※
------	---

年 月 日

富山県立大学長 殿

学校所在地
学 校 名
学校長氏名 ㊟

下記の者を責任をもって推薦いたします。

氏 名		
推薦区分 (工学部・情報工学部のみ) 普通科等 ・ 職業科		
志望学部・学科 第1志望	学部	学科
第2志望	学部	学科

推 薦 理 由	
学 習 状 況	
人 物 概 評	
そ の 他	

次ページの「記入上の注意事項」をよく読んで記入してください。

(記入上の注意事項)

- 1 ※印欄は、本学において記入します。
- 2 推薦区分については、「普通科等」又は「職業科」を○で囲んでください。(工学部・情報工学部のみ)
- 3 職業科の定義については、「学生募集要項 学校推薦型選抜」の3ページを参照してください。(工学部・情報工学部のみ)
- 4 この様式(A4サイズで両面印刷)に準じたものであれば、パソコン等による作成も可。箇条書きでも構いません。(本学のホームページにおいて様式のダウンロードが可能です。)
- 5 工学部環境・社会基盤工学科及び看護学部看護学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできません。
- 6 「推薦理由」には、志望学科に推薦する理由を具体的に記入してください。
- 7 「学習状況」には、授業中の活動状況、勉学に対する姿勢や適性、得意な教科・科目、特技(資格)等について、できるだけ具体的事実をあげて記入してください。
- 8 「人物概評」には、人物や性格について本人の特性をよく表現するような事実を具体的に記入してください。
- 9 「その他」には、本人の生活態度、趣味、部活動、生徒会活動、ボランティア活動、将来の希望、その他特記すべき事項があれば記入してください。
- 10 全般について、本人の学習歴や活動歴を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記入してください。
- 11 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加予定であった大会、資格・検定試験等が中止・延期となり、その結果を記入できない場合は、結果に代えて、本人の成果獲得に向けた努力のプロセス等に基づいて記入してください。

令和6年度富山県立大学学校推薦型選抜志願理由書

受験番号	※
------	---

フリガナ		志望学部・学科	第1志望	学部	学科
氏名			第2志望	学部	学科
1 富山県立大学を志望した理由、本学で学びたいこと、将来の希望する進路などについて記述してください。					
2 学校生活で印象に残る体験（部活動、生徒会活動、ボランティア活動など）について記述してください。					
3 自分をアピールできる点について記述してください。					

- (記入上の注意)
- ※印欄は、本学において記入します。
 - 入学志願者が自筆で記述してください。
 - 工学部環境・社会基盤工学科及び看護学部看護学科を志望する入学志願者は、第2志望学科を選択することはできません。
 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加予定であった大会、資格・検定試験等が中止・延期となり、その結果を記入できない場合は、結果に代えて、成果獲得に向けた努力のプロセス等に基づいて記入してください。

全学部共通 見本

※様式は変更する場合があります。

令和6年度 富山県立大学 入学志願票
学校推薦型選抜

※受験番号

※受験番号の欄は記入しないでください。

234499395683

志望学部	工学部			
志望学科	第1志望	第2志望		
	機械システム工学科	電気電子工学科		
フリガナ	トミヤマ タロウ		生年月日	平成17年7月6日 生
氏名	富山 太郎		性別	男性
現住所 ※確実に連絡が 取れるところ	富山県射水市黒河3丁目10番21号 黒河アパート2号室			
	郵便番号	939-0311	メールアドレス	sample@pu-toyama.ac.jp
	電話番号	0766-57-0000	携帯電話	
その他 連絡先	現住所と同じ			
	郵便番号		電話番号	090-0000-0000
	保護者等氏名	富山 一		
出身学校	所在地	設置者別	学校名等	
	富山県	都道府県立	〇〇	
	学科	課程	出願資格	
	普通科	全日制	令和6年3月	卒業（修了）見込み
推薦区分	普通科等			

入学考査料支払い有り



234499395683

見本

※様式は変更する場合があります。

9 3 9 - 0 3 9 8

富山県射水市黒河5180

富山県立大学

入学試験実施本部 行

工学部・情報工学部 学校推薦型選抜 出願書類在中

選抜区分	学校推薦型選抜
第1志望 学部・学科	工学部 機械システム工学科
学校名	〇〇
氏名	富山 太郎

※下記の出願書類等を確認し、間違いがなければチェック欄に○をつけ、封入してください。

出願書類封入確認		
出願書類等	確認内容	チェック欄
推薦書	厳封したもの	
入学志願票		
志願理由書	※印以外の欄を全て記入していること	
調査書	厳封したもの	

市販の封筒(角形2号サイズ、240mm×332mm)に貼り付けて、高校に提出してください。
高校で出願書類をとりまとめて「書留速達郵便」で郵送します。

見本

※様式は変更する場合があります。

9 3 0 - 0 9 7 5

富山県富山市西長江2丁目2番78号

富山県立大学 富山キャンパス事務部

教務学生課入試・学生募集グループ 行

看護学部 学校推薦型選抜 出願書類在中

選抜区分	学校推薦型選抜
学部・学科	看護学部 看護学科
学校名	〇〇
氏名	富山 花子

※下記の出願書類等を確認し、間違いがなければチェック欄に○をつけ、封入してください。

出願書類封入確認		
出願書類等	確認内容	チェック欄
推薦書	厳封したもの	
入学志願票		
志願理由書	※印以外の欄を全て記入していること	
調査書	厳封したもの	

市販の封筒(角形2号サイズ、240mm×332mm)に貼り付けて、高校に提出してください。
高校で出願書類をとりまとめて「書留速達郵便」で郵送します。

全学部共通

見本

令和6年度 富山県立大学

受験票

選抜区分	学校推薦型選抜
志望学部	工学部
第1志望学科	機械システム工学科
受験番号	999999
フリガナ	トミヤマ タロウ
氏名	富山 太郎
出身学校	〇〇



試験当日は切り離して受験票のみ机の上に置くこと。

※様式は変更する場合があります。

※試験当日は切り離して受験票のみ机の上に置くこと。

※カラー印刷すること。

(きりとり)

入試日程

- 試験期日 令和5年11月24日(金)
- 試験会場
(1) 工学部・情報工学部 富山県立大学射水キャンパス(富山県射水市黒河5180)
(2) 看護学部 富山県立大学富山キャンパス(富山県富山市西長江2丁目2番78号)
- 時間表

(1) 工学部・情報工学部

教科等	時間
受験上の注意事項説明	8:40 ~ 9:00
基礎学力テスト(外国語)	9:00 ~ 10:00
基礎学力テスト(数学)	10:40 ~ 11:55
個人面接	13:05 ~

(2) 看護学部

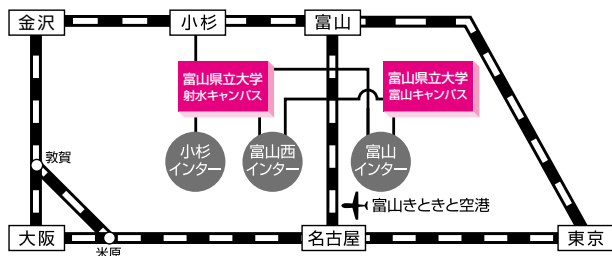
教科等	時間
受験上の注意事項説明	8:40 ~ 9:00
基礎学力テスト(外国語)	9:00 ~ 10:00
基礎学力テスト(数学)	10:40 ~ 11:30
小論文	12:35 ~ 13:25
個人面接	14:05 ~

受験心得

- 受験者は試験当日、8時40分までに試験会場の試験室に入り、着席すること。
- 基礎学力テスト及び小論文(看護学部)の試験開始後20分以内の遅刻に限り受験を認める。
ただし、試験時間は延長しない。
- 試験中は、この「受験票」を必ず机の上に置くこと。
- 試験において使用を許可するものは、黒鉛筆(シャープペンシル可)、シャープペンシルの芯ケース、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの)及び本学入学試験実施本部(工学部・情報工学部)又は本学富山キャンパス事務部教務学生課入試・学生募集グループ(看護学部)へ申請し許可されたものに限る。
なお、携帯電話やウェアラブル端末等の電子機器類など、その他の携帯品は指定された荷物置場に置くこと。
- 自動車、バイク等での試験会場への乗り入れを禁止する。

(白紙)

試験会場案内図



	飛行機	鉄 道	高速道路
東京～富山	1時間	2時間10分	4時間40分
大阪～富山	—	2時間55分	4時間15分
名古屋～富山	—	2時間40分	3時間

射水キャンパス〈工学部・情報工学部〉



富山県射水市黒河5180

(あいの風とやま鉄道) 小杉駅下車

・徒歩……小杉駅南口から約25分(約2km)

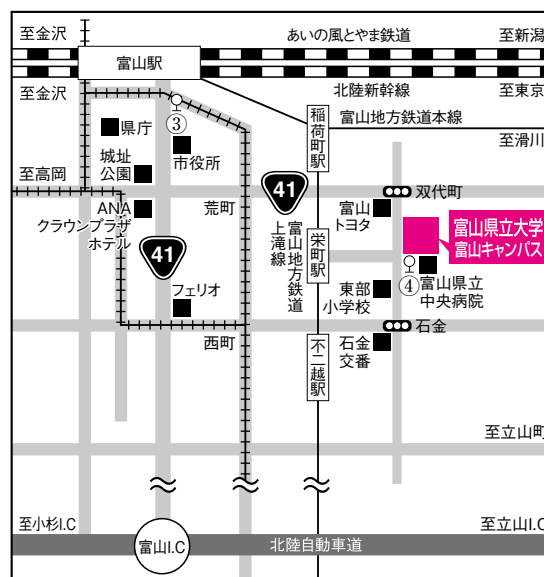
・コミュニティバス利用……

①から「15.市民病院・太閤山線」に乗車し、

②で下車(乗車時間約5分)

(①バス停は「小杉駅南口」②バス停は「富山県立大学前」)

富山キャンパス〈看護学部〉



富山県富山市西長江2丁目2番78号

(JR・あいの風とやま鉄道) 富山駅下車

・タクシー…約10分

・電車と徒歩…富山駅—(徒歩約2分)—電鉄富山駅—(電車4分)—栄町駅—(徒歩約7分)

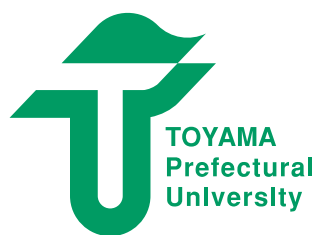
・富山地方鉄道バス利用…③から「⑧中央病院方面」に乗車—④で下車(乗車時間約20分)

(③バス停は「富山駅南口のりば8」④バス停は「中央病院」)

◇不測の事態等が発生した場合の諸連絡

不測の事態等の発生により、本募集要項の内容を変更する場合は、本学ホームページ等により周知しますので、出願前や受験前には特に注意願います。

本学ホームページ URL <https://www.pu-toyama.ac.jp/>



富山県立大学入学試験実施本部

出願・受験・その他に関するお問い合わせ先

学 部	担 当	住 所
工 学 部・ 情報工学部 (射水キャンパス)	富山県立大学入学試験実施本部 (事務局教務課学生募集係)	〒939-0398 富山県射水市黒河5180 TEL (0766) 56-7500 (代)
看護学部 (富山キャンパス)	富山県立大学事務部教務学生課 入試・学生募集グループ	〒930-0975 富山県富山市西長江2丁目2番78号 TEL (076) 464-5410 (代)

URL <https://www.pu-toyama.ac.jp/> E-mail admission@pu-toyama.ac.jp



エコインキの認定を受けた
植物油インキを使用しています。

この冊子は再生紙を使用しています。